

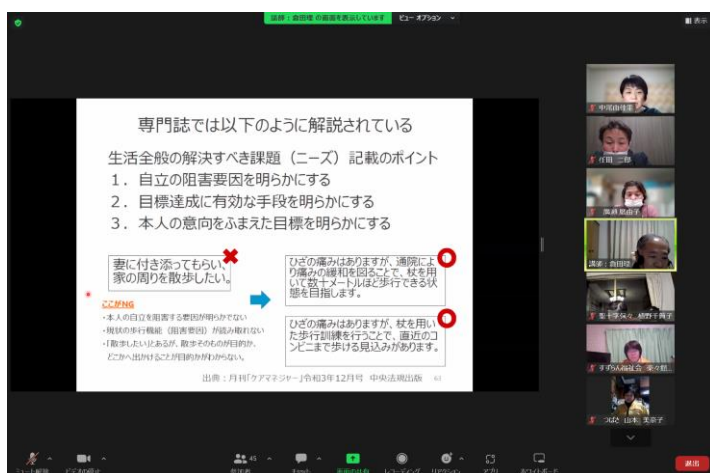
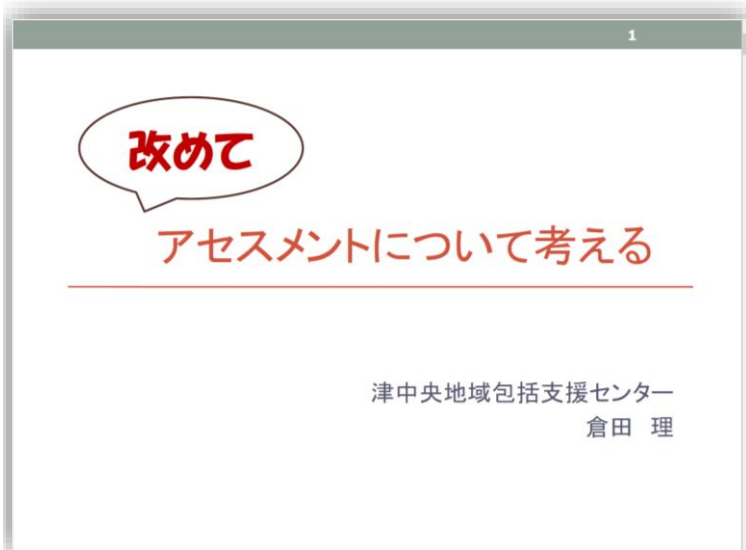
令和4年度 第5回研修報告書

主 催：一般社団法人 三重県介護支援専門員協会 三四支部
 日 時：令和5年2月16日(木) 19時00分～21時00分
 研修方法：ZOOMによるオンライン研修
 内 容：「アセスメントについて考える」
 講 師：三重県介護支援専門員協会 副会長
 津市中央地域包括支援センター 倉田 理 様
 参加者：会員 47名

本日の研修は、「改めて アセスメントについて考える」として、県協会副会長の倉田先生にご講義を頂きました。日頃、日常業務としてアセスメントを実施しておりますが、表題の通り、「改めて」と考えると、気づきもたくさんあり、改めて日常業務の見直しを考えさせられる貴重な時間となりました。

後半はグループワークを行い、講義を受けての感想や、日頃の自分の業務方法等についても会員通しが話合える情報共有の場となりました。

私たち介護支援専門員は相談援助の専門職として、ご利用者様の表面上のニーズではなく、より本質的なニーズにたどり着けるようにニーズの深掘りを行っていく必要があると感じました。



ニーズには階層がある

アセスメントを深める

表面的
本質的

表面的なニーズ=ウォンツ
→それを実現する手段は一つしかない

ある程度深いニーズ=目的
→それを実現する手段は複数、あり得る

より適切な手段を提案するためには、そのニーズの背景や、本人の価値観、ライフスタイル等のアセスメントが必要